

知 事 意 見 （ 要 綱 ）

平成14年9月25日

岡山パブリックゴルフ場機能回復工事に係る環境影響評価準備書について、岡山市長及び関係住民並びに岡山県環境影響評価技術審査委員会の意見を勘案し、慎重に検討した結果、意見は次のとおりであるので、環境影響評価書に反映させるとともに、事業の実施に際しては環境影響評価準備書で明らかにした環境保全対策の実施はもとより、環境保全上必要な措置を講じることとされたい。

記

1. 基本的事項について

- (1) 計画地は、鳥類等の保全について特段の配慮が必要であり、実施することとしている自然保護対策及び環境保全対策等を確実に履行し、その実施に際しては、専門家の指導を得て万全を期すること。
- (2) 計画地周辺で実施される他事業とは、相互の施工計画の調整を行うなど工事の平準化を図り、周辺地域への影響の低減に努めるとともに、工事関係者と密接な情報交換を行う体制を構築すること。

2. 自然環境について

- (1) 埋立により新たに出現する阿部池の水際については、画一的に単調なものとし、可能な限り多様性のあるものとし、小動物の良好な生息環境の創造、豊かな植物相の形成に資するよう配慮すること。
また、池水の水位管理については関係機関と十分調整の上、ヨシ群落の復元に配慮すること。
- (2) ヨシ群落の復元に関しては、手法、時期、生育土壌、移植の方法、生息鳥類に配慮した植栽帯の幅、水位管理について専門家の意見を十分反映し、鳥類等の生息に十分な規模のものとなるよう細心の注意を払うこと。
また、オオチャバネヨトウの生育に配慮しガマ類の脱落がないよう配慮するなど、各種動物の生育環境に適したものとなるよう、計画段階で十分配慮すること。
- (3) 浦安ポンプ場隣接地はチュウヒの利用頻度が高いため、必要に応じ通路利用に対する緩衝設備等保護対策を立案すること。
また、チュウヒの保護地として重要である旨関係者に徹底すること。
- (4) 既存文献等で生息、生育が確認されている貴重種等については、既往の現地調査で確認されなかった場合においても、工事の実施に当たっては、慎重に検討を行い配慮すること。

3. 工事中の対策について

- (1) 工事中の影響を軽減するための緩衝用フェンスの設置に際しては、設置時期、場所、形状等について専門家の意見を考慮した計画とし、鳥類についての生息状況の適切な調査を行い工事計画に反映させること。
- (2) 締切工事の際、撤去したヘドロ層の埋立地への排出に当たって、脱水処理水が発生する場合は、適切な水処理を実施すること。
- (3) 工事の実施に当たっては環境保全のための作業マニュアルを作成し、工事関係者に徹底すること。

4. 環境保全措置について

- (1) 水生生物の良好な生息環境を確保するため、水量の確保や、水質浄化対策について関係機関と十分協議すること。
- (2) 当該地は鳥類の貴重な生息場であるとともに市民の野鳥観察の場として利用されている経緯があり、その機能の維持を図るため、事業地内に可能な限りカワセミ擁壁設置や修景池におけるビオトープの創出など積極的な取組みについて検討すること。

5. 地元理解について

周辺住民に対し、今後具体化する工事計画、環境保全措置等の内容について、適宜、説明を行うなど理解と協力を求めながら適切に事業を進めること。

6. 環境管理について

適切な環境管理により、当該事業が環境に及ぼす影響を把握し、その結果を事業に反映させ地域の環境保全に資すること。

また、その結果を考察し必要に応じ専門家及び関係機関と協議すること。

7. 指摘事項について

別掲の指摘事項についてそれぞれ検討し、適切に対処されたい。

指 摘 事 項

1. 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持

(1) 大気質

工事中の資材運搬車両、建設機械の稼働等による粉じんの発生を防止するため十分な散水等を実施するなど適切な対策を講ずること。

また、粉じん拡散防止のため、タイヤ洗浄ピットを設置すること。

(2) 騒音及び振動

ア. 工事関連車両の運行により発生する騒音及び振動について、交通量の平準化に努めるとともに、搬入ルートについては可能な限り住居等と離れた位置とするよう配慮すること。

イ. 低騒音型施工機器の使用、仮設防音シートの設置等の措置効果については、適宜、近接民家等で測定調査を実施し、その結果を速やかに施工管理に反映させるとともに、効果的な対策を講ずること。

(3) 水質

ア. 工事の実施に伴い発生する濁水の拡散防止については、公共用水域へ影響を及ぼすことのないよう、徹底した監視を行うこと。

イ. 農薬、肥料の使用に当たっては、天候等を考慮し環境に十分配慮した使用計画を策定するとともに、周辺水域の水質に配慮すること。

2. 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全

(1) 動物

ア. ツクシガモ、コアジサシ及びガンカモ類への影響について、特に工事による繁殖行動等への影響が低減されるよう、その生息状況に十分配慮すること。

イ. ガンカモ類をはじめとする鳥類への影響について、工事中的の影響及び工事完了後のヨシ原の復元を考慮した、中長期的な生息状況を具体的に予測・評価すること。

(2) 植物

植栽される樹種の選定に当たっては鳥類や昆虫類にも配慮すること。

(3) 生態系

ア. 鳥類への給餌は、自然と触れ合う手軽な手段であるが、生態系へ悪影響を及ぼすものについては、給餌の自粛を呼びかけるなどの対策も考慮すること。

イ. 昆虫類の調査結果の項で記述されたヒメテントウ類をはじめ湿原を生息環境とする昆虫類が脱落しており、調査結果が生かされていない。

ヨシ原を取り巻く生物群集の典型性をより明らかにすること。

3. 環境への負荷の低減

(1) 廃棄物

発生する廃棄物は各種リサイクル法を踏まえ、その減量化に努めるとともに適正に処理するよう徹底すること。

(2) 温室効果ガス

工事用車両の運行に当たっては待機時間のアイドリング・ストップの実施はもとより運行計画は合理的なものとする。

**「岡山パブリックゴルフ場機能回復工事」の概要及び環境影響評価
準備書の関係地域住民への周知結果について**

1. 事業の概要

(1) 事業の名称

岡山パブリックゴルフ場機能回復工事

(2) 事業者の名称

同和鉱業株式会社 代表取締役社長 吉川 廣和
(東京都千代田区丸の内一丁目8番2号)

(3) 事業の目的及び内容

岡山市の都市計画道路「岡南線」(以下、「岡南線」という。)が整備されることにより、既存の岡山パブリックゴルフ場が分断され、6ホールが使用不能となる。そのため、ゴルフ場の機能維持を目的として、事業者の所有地である阿部池の一部埋立によりゴルフコースの整備を図るもの。

(4) 事業の種類

第二種特定工作物(ゴルフ場)の増設事業

(5) 事業実施区域の位置

岡山市築港緑町二丁目4-1の一部、4-10、4-11、築港栄町10-7、10-16

(6) 計画諸元

○ゴルフ場供用に係る緒元値

項 目	緒 元	備 考
コース規模	18 ホール	アウト・イン各9ホール
供用開始時期	平成 17 年	新コースの全面供用時期
想定利用者数	平均 90 人／日	平日 65 人、土・日・祭日 140 人
従業員数	25 人	—
用水需要量	平均 44m ³ ／日	散水(約 50%)
燃料需要量	A 重油 8,000 ℓ／年	給湯設備等での燃料使用
発生交通量	238 台／日	来場・通勤等

○土地利用計画

現 況	区 分	面積(ha)	割合(%)	備 考
	遊 休 地	9.64	33.9	池北岸の既埋立地等
	池 沼	18.77	66.1	阿部池
	計	28.41	100.0	

	区 分	面積(ha)	割合(%)	備 考
将 来	コース用地	11.70	41.2	フェアウェイ、グリーン、ラフ、ティーグラウンド、練習グリーン(0.084ha)
	飛球防止帯	5.79	20.4	岡南線沿い(1.94ha)、池沿い(3.85ha)
	コース間緑地	5.32	18.7	—
	自然緑地	2.69	9.5	—
	修景池・水路	1.06	3.7	ウォーターハザード 3カ所、西尾上川出口
	管理道・横断道	1.15	4.0	コース間道路、横断道
	メンテナンス用地	0.70	2.5	橋梁(阿部池ホップ場前)含む
	茶 店	0.0032	0.0	1カ所
	計	28.41	100.0	

2. 関係地域住民への周知結果

(1) 公告の方法

- ① 日刊新聞紙への掲載(平成14年5月30日)
山陽新聞(朝刊)、岡山日日新聞(夕刊)
- ② チラシの配布(平成14年5月28日～29日)
配布世帯数 1,016世帯

(2) 縦 覧

- ① 縦覧期間
平成14年5月31日(金)～6月20日(木)
- ② 縦覧場所
同和工営(株)ビル1階ロビー(岡山市築港栄町31番10号)
岡南公民館(岡山市若葉町22番16号)
- ③ 縦覧者数
2名

(3) 説明会

- ① 日時
平成14年6月10日(月)
- ② 場所
市場文化会館(岡山市市場2丁目1番地)
- ③ 参加者数
25名

(4) 意見書の提出期間

平成14年5月31日(金)～6月27日(木)

(5) 住民からの意見書提出数

1通